

■学会発表等一覧（2002年度～2011年度）

1 他誌等掲載論文

表 題	著 者	学 会 誌 名	巻 (No) , ページ , 年
大分県で見出された東洋眼虫の人体寄生例	吉用省三	臨床検査	41(10), 1173-1175, 2002
Molecular epidemiology of group A streptococci T serotype 1	D.Tanaka ¹ , Y.Fuchi et al.	Jpn.J. Infect.Dis.	55, 89-90, 2002
大分川水系のカワニナに寄生するセルカリアの観察	吉用省三	医学検査	52(1), 45-51, 2003
九州 12 機関におけるパルスネット構築に向けた基礎的研究 -腸管出血性大腸菌 O 157 事例における P F G E の方法及び画像解析について-	堀川和美他九州地区 12 地方衛生研究所細菌担当者（大分県参加者：成松浩志、阿部義昭、澗祐一）	厚生労働科学研究報告書（課題番号H12-新興-3）（平成 14 年度総括及び平成 12-14 年度総合報告書）	213-241 及び 335-371, 2003
A major genotype of Japanese encephalitis virus currently circulating in Japan	Shao-Ping Ma, Yasuko Yoshida, Yoshihiro Makino, Masayuki Tadano, Tetsuro Ono, And Masao Ogawa	American Journal of Tropical Medicine and Hygiene	69(2), 151-154, 2003
既知の病原因子を保有しない大腸菌大腸菌 O6:H10 (astA 保有) が検出された下痢症集団発生事例	緒方喜久代、成松浩志、鷺見悦子、内山静夫	病原微生物検出情報	25(4), 101-102, 2004
Antimicrobial Susceptibility Survey of <i>Streptococcus pyogenes</i> Isolated in Japan from Patients with Severe Invasive Group A Streptococcal Infections	Tadayoshi Ikebe, Kyoko Hirasawa, Rieko Suzuki, Junko Isobe, Daisuke Tanaka, Chihiro Katsukawa, Ryuji Kawahara, Masaaki Tomita, Kikuyo Ogata, Miyoko Endoh, Rumi Okuno, Haruo Watanabe, and the Working Group for Group A Streptococci in Japan	ANTIMICROBIAL AGENTS AND CHEMOTHERAPY	49(2), 788-790, 2005
Molecular mechanisms of high level tetracycline-resistance in group A streptococcal isolates, T serotypes 4 and 11	Masakado Matsumoto, Kenji Sakae, Michio Ohta, Miyoko Endo, Rumi Okuno, Shoko Murayama, Kyoko Hirasawa, Masaaki Tomita, Kikuyo Ogata, Tomihisa Yasuoka, Tadayoshi Ikebe, Haruo Watanabe	International Journal of Antimicrobial Agents	25, 142-147, 2005
Antimicrobial Susceptibility Survey of <i>Streptococcus pyogenes</i> Isolated in Japan from Patients with Severe Invasive Group A Streptococcal Infections	Tadayoshi Ikebe, Kyoko Hirasawa, Rieko Suzuki, Junko Isobe, Daisuke Tanaka, Chihiro Katsukawa, Ryuji Kawahara, Masaaki Tomita, Kikuyo Ogata, Miyoko Endoh, Rumi Okuda, Haruo Watanabe, and the Working Group for Group A Streptococci in Japan	ANTIMICROBIAL AGENTS AND CHEMOTHERAPY	49(2), 788-790, 2005
Molecular mechanisms of high level tetracycline-resistance in group A streptococcal isolates, T serotypes 4 and 11	Masakado Matsumoto, Kenji Sakae, Michio Ohta, Miyoko Endoh, Rumi Okuda, Shoko Murayama, Kyoko Hirasawa, Rieko Suzuki, Junko Isobe, Daisuke Tanaka, Chihiro Katsukawa, Aki Tamaru, Masaaki Tomita, Kikuyo Ogata, Tomihisa Yasuoka, Tadayoshi Ikebe, Haruo Watanabe	International Journal of Antimicrobial Agents	25, 142-147, 2005
Close Correlation of Streptococcal Dnase B (sdaB) Alleles with emm Genotypes in <i>Streptococcus pyogenes</i>	Masakado Matsumoto, Kenji Sakae, Shinnosuke Hashikawa, Keizo Torii, Tadao Hasegawa, Toshinobu Horii, Miyoko Endoh, Rumi Okuda, Shoko Murayama, Kyoko Hirasawa, Rieko Suzuki, Junko Isobe, Daisuke Tanaka, Chihiro Katsukawa, Aki Tamaru, Masaaki Tomita, Kikuyo Ogata, Tadayoshi Ikebe, Haruo Watanabe The Working Group for Group A Streptococci in Japan, and Michio Ohta	Microbiol. Immunol.	49(10) 925-929, 2005
食中毒及び感染性胃腸炎の病原体と臨床症状	久高 潤、堀川和美、瓜生佳世、松雪星子、緒方喜久代、河野喜美子、山口仁孝、山崎省吾、渡辺治雄、岩永正明	感染症学雑誌	79 864 - 870, 2005
リアルタイム PCR 装置の導入	小河正雄	大分県臨床衛生検査技師会雑誌	15, 39-42, 2006
キャンプ場の湧き水による下痢原性大腸菌食中毒事例	馬場 愛、江潮寿美、瓜生佳世、樋脇 弘、緒方喜久代、鷺見悦子、長谷川昭生、内山静夫	病原微生物検出情報	26 275-276, 2005

表 題	著 者	学 会 誌 名	巻 (No) , ページ , 年
熊本市、佐賀県、大分県で検出されたノロウイルスの分子疫学	松岡由美子、平野敬之、小河正雄	病原微生物検出情報	26(12), 329-330, 2005
CT 保有の <i>Vibrio cholerae</i> O141 検出事例	緒方喜久代、鷺見悦子、長谷川昭生、内山静夫、荒川英二、渡辺治雄、近藤正治、森田 繁、原 一美	病原微生物検出情報	27,10,2006
アイチウイルスが検出された食中毒事例 - 大分県	小河正雄、田代潔子、吉用省三	病原微生物検出情報	27(1), 13-13,2006
輸入魚介類からの病原ビブリオの検出状況 (1990 ~ 2004)	緒方喜久代、鷺見悦子、長谷川昭生、内山静夫	臨床と微生物	33(2), 305-306, 2006
Surveillance of group B streptococcal toxic shock-like syndrome in nonpregnant adults and characterization of the strains in Japan.	Bin Chang, Tadayoshi Ikebe, Akihito Wada, Kikuyo Ogata, Masaaki Tomita, Chihiro Katsukawa, Ryuji Kawahara, Rieko Suzuki, Miyoko Endo, Junko Isobe, Daisuke Tanaka and the Working Group for Streptococci in Japan	Jpn. J. Infect. Dis.	59, 182-185, 2006
Salmonella Bareilly による食中毒事例 - 大分県	緒方喜久代、鷺見悦子、長谷川昭生、瀧 祐一	病原微生物検出情報	27(8), 202-203, 2006
エコーウイルス 18 型の検出状況 - 大分県	吉用省三、長岡健朗、川島眞也、瀧 祐一	病原微生物検出情報	27(9), 230, 2006
Epidemiological characteristics of tsutsugamushi disease in Oita Prefecture, Japan: Yearly and monthly occurrences of its infections and serotypes of its causative agent, <i>Orientia tsutsugamushi</i> , during 1984-2005	Masao Ogawa, Tetsuro Ono	Microbiol. Immunol.	52(3), 135-143, 2008
大分県の麻疹の流行状況	小河正雄、長岡健朗、吉用省三、瀧祐一、辛 嶋 淳子	病原微生物検出情報	28(11), 324, 2007
Distribution of emm genotypes among group A streptococcus isolates from patients with severe invasive streptococcal infections in Japan, 2001-2005	T. Ikebe, K. Hirasawa, R. Suzuki, H. OHYA, J. Isobe, D. Tanaka, C. Katsukawa, R. Kawahara, M. Tomita, K. Ogata, M. Endoh, R. Okuda, Y. TADA, N. OKABE, H. Watanabe, and the Working Group for Beta-haemolytic Streptococci in Japan	Epidemiol. Infect.	135, 1227-1229, 2007.
エコーウイルス 30 型による無菌性髄膜炎の高校での集団発生事例	長岡健朗、加藤聖紀、本田顕子、小河正雄	病原微生物検出情報	30(1), 8-9, 2009
A 焼肉店が原因施設と推定された腸管出血性大腸菌 O157 集団発生事例における IS-printing 法の有用性について	緒方喜久代、若松正人、成松浩志、小河正雄	病原微生物検出情報	31(6), 161-162, 2010
保育園で発生した腸管出血性大腸菌 O121 による集団発生事例 - 大分県	緒方喜久代、若松正人、成松浩志、小河正雄	病原微生物検出情報	31(6), 162-164, 2010
大分県におけるイヌ・ネコの <i>C. ulcerans</i> 保菌状況	若松正人、人見 徹、成松浩志 緒方喜久代、小河正雄	病原微生物検出情報	31(7), 204-205, 2010
Emergence of Clindamycin-Resistant <i>Streptococcus pyogenes</i> Isolates Obtained from Patients with Severe Invasive Infections in Japan	T. Ikebe, A. Wada, Y. Oguro, K. Ogata, C. Katsukawa, J. Isobe, T. Shima, R. Suzuki, H. Ohya, K. Tominaga, R. Okuda, Y. Uchitani, H. Watanabe, and the Working Group for Beta-haemolytic Streptococci in Japan	Jpn. J. Infect. Dis.	63(4):304-305 (2010).
Surveillance of severe invasive group G streptococcal infections during 2002-2008 in Japan	Ikebe T, Oguro Y, Ogata K, Katsukawa C, Isobe J, Shima T, Suzuki R, Ohya H, Tominaga K, Okuno R, Uchitani Y, Tada Y, Okabe N, Watanabe H, The Working Group for β -hemolytic Streptococci in Japan.	Jpn. J. Infect. Dis.	63 (5): 372-375 (2010)
Distribution of Non-LEE Pathogenic Island-related Genes in <i>Escherichia coli</i> Carrying <i>eae</i> from Patients with Diarrhea and Healthy Individuals in Japan	成松浩志、緒方喜久代、伊藤健一郎	J. C. Microbiol.	48(11), 4107-4114, 2010
Commercially Distributed Meat as a Potential Vehicle for Community-Acquired Methicillin-Resistant <i>Staphylococcus aureus</i>	Kikuyo Ogata, Hiroshi Narimatsu, Masahiro Suzuki, Wataru Higuchi, Tatsuo Yamamoto, and Hatsumi Taniguchid	Applied and Environmental Microbiology	78(8), 2797-2802, 2012

*1 富山県衛生研究所

2 年報掲載論文

年度	号	部 名	表 題	著 者	種 類
2002	30	水 質	手壊し法による住宅解体廃木材の有効利用システムについて	宮崎 博文	報 文
2002	30	化 学	蒲江町沿岸における二枚貝の麻痺性貝毒について	森崎 澄江	調査・事例
2002	30	微 生 物	健康人由来大腸菌における病原性関連遺伝子の保有状況調査	成松 浩志	調査・事例
2002	30	微 生 物	大分県における小児及び健康成人の髄膜炎菌等の保菌実態調査	鷺見 悦子	調査・事例
2002	30	化 学	食品の理化学的検査結果について (2002年度)	二宮 孝代	資 料
2002	30	微 生 物	感染症流行予測調査について (2002年度)	小河 正雄	資 料
2002	30	微 生 物	感染症発生動向調査からみたウイルスの流行状況 (2002年度)	小河 正雄	資 料
2002	30	微 生 物	大分県における細菌性下痢症サーベイランスの動向 (2002年)	成松 浩志	資 料
2002	30	微 生 物	食品の微生物学的検査成績について (2002年度)	緒方喜久代	資 料
2002	30	微 生 物	九州地方において1993～2002年の過去10年間に分離された臨床由来A群溶血レンサ球菌の菌型推移	緒方喜久代	資 料
2002	30	微 生 物	大分県における雨水成分調査 (2002年度)	仲摩 聡	資 料
2003	31	微 生 物	シークエンスによるA群コクサッキーウイルスの同定	小河 正雄	報 文
2003	31	微 生 物	2003 - 2004に流行したノロウイルスについて	小河 正雄	報 文
2003	31	化 学	健康食品の医薬品成分分析事例について	立花 敏弘	調査・事例
2003	31	化 学	大分県産鶏卵中の動物用医薬品 (SDM) の検出事例について	荒金真理子	調査・事例
2003	31	微 生 物	既知の病原因子を保有しない大腸菌 O6:H10 (astA 保有) が検出された下痢症集団発生事例について	緒方喜久代	調査・事例
2003	31	微 生 物	下痢症患者および健康人から分離された eaeA および aggR 遺伝子保有大腸菌におけるその他の病原性関連遺伝子の分布、並びに、afaD 遺伝子保有大腸菌調査	成松 浩志	調査・事例
2003	31	化 学	食品の理化学的検査結果について (2003年度)	曾根 聡子	資 料
2003	31	微 生 物	感染症発生動向調査からみたウイルスの流行状況 (2003)	小河 正雄	資 料
2003	31	微 生 物	感染症流行予測調査について (2003年度)	小河 正雄	資 料
2003	31	微 生 物	大分県における細菌性下痢症サーベランスの動向 (2003年)	成松 浩志	資 料
2003	31	微 生 物	食品の微生物学的検査成績について (2003年度)	鷺見 悦子	資 料
2003	31	大 気	黄砂飛来時における浮遊粉じんの粒径分布の一例について	山下 圭史	資 料
2003	31	大 気	大分県における雨水成分調査 (2003年度)	山下 圭史	資 料
2004	32	企画・特定化学物質	河川水中のダイオキシン類濃度について	上田精一郎	報 文
2004	32	微 生 物	先天性風疹症候群の2例 - 大分県	吉用 省三	報 文
2004	32	微 生 物	電子顕微鏡画像集の作成	小河 正雄	報 文
2004	32	化 学	天然化学物質による食中毒事例について	森崎 澄江	調査・事例
2004	32	微 生 物	2004/2005 シーズンに流行したノロウイルスについて	田代 潔子	調査・事例
2004	32	微 生 物	A群溶血レンサ球菌の細菌学的特徴および遺伝子解析の検討	緒方喜久代	調査・事例
2004	32	化 学	食品の理化学的検査結果について (2004年度)	曾根 聡子	資 料
2004	32	微 生 物	2004/2005年シーズンの大分県におけるインフルエンザの流行状況について	吉用 省三	資 料
2004	32	微 生 物	感染症流行予測調査について (2004年度)	小河 正雄	資 料
2004	32	微 生 物	感染症発生動向調査からみたウイルスの流行状況 (2004年)	小河 正雄	資 料
2004	32	微 生 物	大分県における細菌性下痢症サーベランスの動向 (2004年)	緒方喜久代	資 料
2004	32	微 生 物	食品の微生物学的検査成績について (2004年度)	鷺見 悦子	資 料
2004	32	大 気	大分県における雨水成分調査 (2004年度)	恵良 雅彰	資 料
2005	33	大気・特定化学物質	環境におけるダイオキシン類の同族体・異性体組成の特性について	二村 哲男	報 文

年度	号	部 名	表 題	著 者	種 類
2005	33	微 生 物	胃腸炎ウイルスの流行状況について (2002-2005 年度)	小河 正雄	報 文
2005	33	微 生 物	ウエストナイルウイルスと日本脳炎ウイルスの同時鑑別について	小河 正雄	調査・事例
2005	33	化 学	食品の理化学的検査結果について (2005 年度)	曾根 聡子	資 料
2005	33	微 生 物	大分県における細菌性下痢症サーベランスの動向 (2005 年)	鷺見 悦子	資 料
2005	33	微 生 物	2005/2006 年シーズンの大分県におけるインフルエンザの流行状況について	吉用 省三	資 料
2005	33	微 生 物	感染症流行予測調査について (2005 年度)	小河 正雄	資 料
2005	33	微 生 物	食品の微生物学的検査成績について (2005 年度)	長谷川昭生	資 料
2005	33	微 生 物	感染症発生動向調査からみたウイルスの流行状況 (2005 年)	小河 正雄	資 料
2005	33	大気・特定 化学物質	大分県における雨水成分調査 (2005 年度)	恵良 雅彰	資 料
2005	33	水 質	芹川ダムの生態系を利用した水質改善 (淡水赤潮対策) について	坂田 隆一	資 料
2006	34	微 生 物	リアルタイム PCR (インターカレーター法) を用いたウイルス等の迅速検査について	小河 正雄	報 文
2006	34	微 生 物	ウイルスの RT-PCR 検査に用いる逆転写酵素の比較検討	小河 正雄	報 文
2006	34	水 質	ろ紙吸光法による河川水質評価手法の検討について	金並 和重	報 文
2006	34	化 学	大分県近海産魚介類の有機スズ化合物調査結果について	森崎 澄江	調査・事例
2006	34	微 生 物	輸入魚介類からの病原ビブリオの検出状況 (1990 ~ 2006 年度)	緒方喜久代	調査・事例
2006	34	水 質	大分県内におけるカワノリ生育地の水環境について	松田 千晴	調査・事例
2006	34	化 学	食品の理化学的検査結果について (2006 年度)	曾根 聡子	資 料
2006	34	化 学	保存料等の食品添加物の除去検査結果について	武田 亮	資 料
2006	34	微 生 物	感染症流行予測調査について (2006 年度)	小河 正雄	資 料
2006	34	微 生 物	感染症発生動向調査からみたウイルスの流行状況 (2006 年)	小河 正雄	資 料
2006	34	微 生 物	2006/2007 年シーズンの大分県におけるインフルエンザの流行状況について	吉用 省三	資 料
2006	34	微 生 物	感染症法の改正に伴う感染症患者情報システムの改訂	小河 正雄	資 料
2006	34	微 生 物	大分県における細菌性下痢症サーベランスの動向 (2006 年)	緒方喜久代	資 料
2006	34	微 生 物	食品の微生物学的検査成績について (2006 年度)	緒方喜久代	資 料
2006	34	微 生 物	九州地方における臨床由来溶血レンサ球菌の血清型別の動向 (2006 年)	緒方喜久代	資 料
2006	34	大気・特定 化学物質	大分県における雨水成分調査 (2006 年度)	松原 輝博	資 料
2007	35	微 生 物	大分県のつつが虫病 (1998 ~ 2007 年)	小河 正雄	報 文
2007	35	化 学	大分県南部海域における麻痺性貝毒モニタリング調査について (2003 ~ 2007)	森崎 澄江	調査・事例
2007	35	微 生 物	3 施設へ拡大した腸管出血性大腸菌 O 111 による集団発生事例	緒方喜久代	調査・事例
2007	35	微 生 物	大分県における浴用水中の <i>Legionella</i> 属菌の分離状況	緒方喜久代	調査・事例
2007	35	化 学	健康食品からのヒドロキシホンデナフィル検出事例について	曾根 聡子	調査・事例
2007	35	化 学	食品の理化学的検査結果について (2007 年度)	曾根 聡子	資 料
2007	35	微 生 物	感染症流行予測調査について (2007 年度)	長岡 健朗	資 料
2007	35	微 生 物	感染症発生動向調査からみたウイルスの流行状況 (2007 年)	長岡 健朗	資 料
2007	35	微 生 物	食品の微生物学的検査成績について (2007 年度)	若松 正人	資 料
2007	35	微 生 物	大分県における細菌性下痢症サーベランスの動向 (2007 年)	成松 浩志	資 料
2007	35	大気・特定 化学物質	PCB に汚染された底質試料分析に伴う工程別相互汚染リスクの検討	上田精一郎	資 料
2007	35	大気・特定 化学物質	大分県における雨水成分調査 (2007 年度)	松原 輝博	資 料

年度	号	部 名	表 題	著 者	種 類
2007	35	水 質	大分県の公共用水域における燐の測定結果について	武田 亮	資 料
2008	36	微 生 物	2008/09 インフルエンザシーズンにおけるインフルエンザ (A/H1N1) オセルタミビル耐性株 (H275Y*) の県内発生状況	加藤 聖紀	報 文
2008	36	大気・特定 化学物質	河川水中のダイオキシン類濃度特性について	上田精一郎	報 文
2008	36	微 生 物	加工食品における残留農薬等一斉試験法の検討 - (I)	安井 玉樹	調査・事例
2008	36	化 学	フグ食中毒事例における TTX 分析について	森崎 澄江	調査・事例
2008	36	微 生 物	低特異性 PCR 法による高感度ウイルス検出法の確立	長岡 健朗	調査・事例
2008	36	微 生 物	<i>Salmonella Braenderup</i> による小児重症感染事例と大分県感染症発生動向調査におけるサルモネラ検出状況 (2004 ~ 2008 年)	若松 正人	調査・事例
2008	36	水 質	大分県内の硝酸性窒素高濃度地域における地下水汚染の実態把握調査	中村 千晴	調査・事例
2008	36	化 学	食品の理化学的検査結果について (2008 年度)	安井 玉樹	資 料
2008	36	微 生 物	感染症流行予測調査について (2008 年度)	加藤 聖紀	資 料
2008	36	微 生 物	感染症発生動向調査からみたウイルスの流行状況 (2008 年)	加藤 聖紀	資 料
2008	36	微 生 物	食品の微生物学的検査成績について (2008 年度)	若松 正人	資 料
2008	36	微 生 物	大分県における細菌性下痢症サーベイランスの動向 (2008 年)	成松 浩志	資 料
2008	36	微 生 物	九州地方における臨床由来溶血レンサ球菌の血清型別の動向 (2008 年)	緒方喜久代	資 料
2008	36	大気・特定 化学物質	大分県における雨水成分調査 (2008 年度)	小野由加里	資 料
2009	37	微 生 物	大分県におけるマダニの分布状況及びマダニからのリケッチアの検出 (第1報)	小河 正雄	報 文
2009	37	大気・特定 化学物質	河川水中のダイオキシン類濃度特性について (第2報)	上田精一郎	報 文
2009	37	化 学	化学物質による食中毒及び苦情等の事例 (2005 ~ 2010 年)	安井 玉樹	調査・事例
2009	37	化 学	食品中に含まれるアレルギー物質 (特定原材料) の検査結果について (第1報)	幸 花苗	調査・事例
2009	37	大気・特定 化学物質	大分県における高濃度光化学オキシダント発生メカニズムの検討	伊東 達也	調査・事例
2009	37	化 学	食品の理化学的検査結果について (2009 年度)	安井 玉樹	資 料
2009	37	微 生 物	感染症流行予測調査について (2009 年度)	人見 徹	資 料
2009	37	微 生 物	感染症発生動向調査からみたウイルスの流行状況 (2009 年)	加藤 聖紀	資 料
2009	37	微 生 物	食品の微生物学的検査成績について (2009 年度)	若松 正人	資 料
2009	37	微 生 物	大分県における細菌性下痢症サーベイランスの動向 (2009 年)	成松 浩志	資 料
2009	37	微 生 物	九州地方における臨床由来溶血レンサ球菌の血清型の推移と薬剤感受性について (2009 年)	緒方喜久代	資 料
2009	37	微 生 物	ジフテリア毒素産生コリネバクテリウム ウルセランスの検査法について	若松 正人	資 料
2009	37	大気・特定 化学物質	豊後大野地域の環境大気調査 (2009 年度)	小野由加里	資 料
2009	37	大気・特定 化学物質	大分県における雨水成分調査 (2009 年度)	小野由加里	資 料
2010	38	化 学	台所用洗剤における食品混入時の対応について— LC/MS/MS による洗剤の識別方法の検討 —	林 由美	報 文
2010	38	大気・特定 化学物質	河川水中のダイオキシン類濃度特性について (第3報)	長野 真紀	報 文
2010	38	大気・特定 化学物質	早朝における光化学オキシダント高濃度事例 (2010 年度) の解析 — 中国大陸からの移流の影響に関する検討 —	中田 高史	報 文
2010	38	化 学	化学物質による食中毒への危機管理対応について	安井 玉樹	調査・事例

年度	号	部 名	表 題	著 者	種 類
2010	38	微 生 物	クドア検査法の開発	若松 正人	調査・事例
2010	38	微 生 物	サルコシステイス検査法の開発	小河 正雄	調査・事例
2010	38	微 生 物	大分県における浴用水中の <i>Legionella</i> 属菌の検出状況 (2010)	緒方喜久代	調査・事例
2010	38	大気・特定 化学物質	由布地域の環境大気調査 (2010 年度)	小野由加里	調査・事例
2010	38	大気・特定 化学物質	大分県における大気中の硫酸イオン濃度調査 (2009、2010 年度)	小野由加里	調査・事例
2010	38	化 学	食品の理化学的検査結果について (2010 年度)	幸 花苗	資 料
2010	38	微 生 物	感染症流行予測調査について (2010 年度)	人見 徹	資 料
2010	38	微 生 物	感染症発生動向調査からみたウイルスの流行状況 (2010 年)	加藤 聖紀	資 料
2010	38	微 生 物	食品の微生物学的検査成績について (2010 年度)	成松 浩志	資 料
2010	38	微 生 物	大分県における細菌性下痢症サーベランスの動向 (2010 年)	成松 浩志	資 料
2010	38	微 生 物	九州地方における臨床由来溶血レンサ球菌の血清型の推移と薬剤感受性について (2010 年)	緒方喜久代	資 料
2010	38	大気・特定 化学物質	大分県における雨水成分調査 (2010 年度)	小野由加里	資 料
2011	39	微 生 物	大分県におけるマダニの分布状況及びマダニからのリケッチアの検出 (第2報)	小河 正雄	報 文
2011	39	大気・特定 化学物質	河川水中のダイオキシン類濃度特性について (第4報)	長野 真紀	報 文
2011	39	大気・特定 化学物質	異性体指標法による河川水中ダイオキシン類発生源寄与の推算について	伊賀上美紗	報 文
2011	39	化 学	LC/MS/MS による食品中の保存料及び甘味料の一斉分析	麻生 花苗	調査・事例
2011	39	微 生 物	畜水産物における残留農薬一斉分析法の検討	武田 亮	調査・事例
2011	39	微 生 物	食品添加物の取去検査結果 (2007 ~ 2011 年度) について	橋口 祥子	調査・事例
2011	39	微 生 物	大分県における浴用水中のレジオネラ属菌の検出状況 (2011 年度)	緒方喜久代	調査・事例
2011	39	大気・特定 化学物質	大分県における大気中の硫酸イオン濃度調査 (2011 年度)	安東 大悟	調査・事例
2011	39	大気・特定 化学物質	久住地域における乾性沈着物中のイオン成分の特性について (2011 年度)	酒盛 早美	調査・事例
2011	39	大気・特定 化学物質	大分県におけるモニタリング強化時の環境放射能水準調査	岡本 英子	調査・事例
2011	39	大気・特定 化学物質	由布地域の環境大気調査 (2011 年度)	鈴木 龍一	調査・事例
2011	39	化 学	食品の理化学的検査結果について (2011 年度)	林 由美	資 料
2011	39	微 生 物	九州地方における臨床由来溶血レンサ球菌の血清型の推移と薬剤感受性について (2011 年)	緒方喜久代	資 料
2011	39	微 生 物	大分県における細菌性下痢症サーベランスの動向 (2011 年)	成松 浩志	資 料
2011	39	微 生 物	感染症発生動向調査からみたウイルスの流行状況 (2011 年)	加藤 聖紀	資 料
2011	39	微 生 物	感染症流行予測調査について (2011 年度)	田中 幸代	資 料
2011	39	微 生 物	食品の微生物学的検査成績について (2011 年度)	佐々木麻里	資 料
2011	39	大気・特定 化学物質	大分県における雨水成分調査 (2011 年度)	酒盛 早美	資 料
2011	39	水 質	大分県沿岸域における海水温等の変動傾向について	中村 千晴	資 料
2011	39	水 質	大分県における温泉の泉質について 一温泉法改正に伴う温泉水再分析結果について一	佐藤 洋子	資 料

3 学会等発表演題

表 題	発表者	発表学会名	会期	会場
日本脳炎ウイルス大分分離株の分子疫学	馬 紹平、小野 哲郎 牧野 芳大、小河 正雄	日本脳炎研究会	2002. 7. 4	別府市ヘルシーバル
大分県のツツガムシ病	小河 正雄	第 55 回日本衛生動物学会	2003. 3. 31	大分医科大学
九州地区において 1993 ～ 2002 年の 10 年間に分離された臨床由来 A 群溶血レンサ球菌の菌型推移	緒方喜久代、内山 静夫 増本喜美子 (佐賀県衛生薬業センター)、久高 潤 (沖縄県衛生環境研究所)	第 56 回日本細菌学会九州支部総会	2003. 9. 13 ～ 14	宮崎市：ワールドコンベンションセンター・サミット
既知の病原因子を保有しない大腸菌 O6:H10 (asM 保有) が検出された下痢症集団発生事例について	緒方喜久代、成松 浩志 鷺見 悦子、内山 静夫	第 29 回九州衛生環境技術協議会	2003. 10. 9 ～ 10	沖縄県
既知の病原因子を保有しない大腸菌 O6:H10 (asM 保有) が検出された下痢症集団発生事例について	緒方喜久代、成松 浩志 鷺見 悦子、内山 静夫	大分県公衆衛生学会	2004. 2. 21	大分市
三大死因等 SMR の地域的特徴について	吉川 政治	大分県公衆衛生学会	2004. 2. 21	大分市
大分県におけるノロウイルスの流行 (2003-2004)	小河 正雄、田代 潔子 吉用 省三	第 30 回九州衛生環境技術協議会	2004. 10. 7 ～ 8	熊本市
大分県におけるノロウイルスの流行 (2003-2004)	小河 正雄、田代 潔子 吉用 省三	第 50 回大分県公衆衛生学会	2005. 2. 19	大分市
熊本市、佐賀県、大分県で検出されたノロウイルスの分子疫学	松岡由美子、平野 敬之 小河 正雄	第 46 回日本臨床ウイルス学会	2005. 6. 3 ～ 4	福岡市
輸入魚介類からの病原ビブリオの検出状況 (1990 ～ 2004)	緒方喜久代、鷺見 悦子 長谷川昭生、内山 静夫	腸炎ビブリオシンポジウム	2005. 10. 6 ～ 7	新潟市
先天性風疹症候群の 1 例一大分県	田代 潔子、吉用 省三 小河 正雄	第 31 回九州衛生環境技術協議会	2005. 10. 6 ～ 7	福岡市
熊本市、佐賀県、大分県で検出されたノロウイルス (NV) の分子疫学について	松岡由美子、平野 敬之 小河 正雄、愛木智香子 秋山 美穂、西尾 治	第 53 回日本ウイルス学会	2005. 11. 20 ～ 22	横浜市
輸入魚介類からの病原ビブリオの検出状況 (1990 ～ 2005)	緒方喜久代、鷺見 悦子 長谷川昭生、内山 静夫	大分県公衆衛生学会	2006. 3. 25	大分市
大分県におけるサルモネラ属菌の発生動向 (2005 年)	鷺見 悦子、緒方喜久代 長谷川昭生、内山 静夫	大分県公衆衛生学会	2006. 3. 25	大分市
胃腸炎ウイルスの流行状況について	小河 正雄、吉用 省三	第 37 回大分県臨床検査学会	2006. 5. 4	別府市
キャンプ場の湧き水を原因とした下痢原性大腸菌による食中毒事例	緒方喜久代、鷺見 悦子 長谷川昭生、馬場 愛 ¹ 江瀧 寿美 ¹ 、瓜生 佳世 ¹ 極脇 弘 ¹	第 9 回日本水環境学会シンポジウム	2006. 9. 5 ～ 6	東京都
Diffuse outbreak が疑われた <i>Salmonella</i> Braenderup の発生動向, 2005	緒方喜久代、鷺見 悦子 長谷川昭生	第 32 回九州衛生環境技術協議会	2006. 10. 12 ～ 13	北九州市
ろ紙吸光法分析による河川水質評価手法の検討について	金並 和重、松田 千晴 宮崎 博文	第 32 回九州衛生技術協議会	2006. 10. 12 ～ 13	北九州市
ろ紙吸光法分析による河川水質評価手法の検討について	金並 和重、松田 千晴 宮崎 博文	第 30 回瀬戸内海水環境研究会研究発表会	2007. 2. 7	広島市
大野川源流域における「カワノリ」生育地の水環境調査結果について	松田 千晴、金並 和重 宮崎 博文	陽目カワノリ調査結果報告会	2007. 3. 16	竹田市
小学校におけるエコーウイルス 18 型の集団感染事例一大分県	吉用 省三、長岡 健朗 小河 正雄、川島 眞也 測 祐一	第 52 回大分県公衆衛生学会・第 24 回大分県地域保健学会	2007. 3. 24	大分市
大分地域における日本脳炎ウイルスの活動	湯 偉峰、吉用 省三 牧野 芳大	第 42 回大分感染症研究会	2007. 2. 7	大分全日空ホテル
掛け流し式温泉成分検査、微生物実態調査、および施設の衛生管理状況についての調査	前川 純子、森本 洋 熊田 裕子、藤田 雅弘 黒木 俊郎、杉山 寛治 緒方喜久代、縣 邦雄 山崎 利雄、渡辺 治雄 倉 文明	第 81 回日本細菌学会総会	2007. 3. 24 ～ 26	京都市 (国立京都国際会館)

表 題	発表者	発表学会名	会期	会場
大分県内で発生した腸管出血性大腸菌による複数施設集団の2事例について	測 祐一、緒方喜久代 成松 浩志、若松 正人	第33回九州衛生環境技術協議会	2007.10.11～12	かごしま県民交流センター
小学校におけるエコーウイルス18型の集団感染事例	吉用 省三、長岡 健朗 小河 正雄、川島 賢也 測 祐一	第33回九州衛生環境技術協議会	2007.10.11～12	かごしま県民交流センター
大野川源流域における「カワノリ」生育地の水環境について	松田 千晴、金並 和重 宮崎 博文	第33回九州衛生環境技術協議会	2007.10.11～12	かごしま県民交流センター
ろ紙吸光法による河川水質評価方法の検討について	金並 和重、松田 千晴 宮崎 博文	第34回環境保全・公害防止研究発表会	2007.11.7～8	大分市コンパルホール
淡水産緑藻類カワノリの生育地の水環境について	松田 千晴、金並 和重 宮崎 博文、坂田 隆一	第42回日本水環境学会研究発表会	2008.3.19～21	名古屋大学
腸管病原性大腸菌の局在性付着関連遺伝子 bfpA の多型と表現型解析	飯田真里子、鈴木理恵子 磯部 順子、勢戸 和子 河野喜美子、成松 浩志 伊藤健一郎、岡部 信彦 岡村 登	第82回日本感染症学会総会学術集会	2008.4.17～18	鳥根県民会館 サンラポーむらくも
PCBに汚染された底質試料分析に伴う工程別相互汚染リスクの検討	上田精一郎	第17回環境化学討論会	2008.6.11～13	神戸国際会議場
公共用水域における燐の挙動について	武田 亮、宮崎 博文	九州衛生環境技術協議会	2008.10.9～10	セントヒル長崎
腸炎ビブリオはどこから来るのか	緒方喜久代、若松 正人 成松 浩志、小河 正雄	第42回腸炎ビブリオシンポジウム	2008.10.21～24	富山県民会館
大分地域で分離された日本脳炎ウイルスのE遺伝子の解析	湯 偉峰、長岡 健朗 吉田ちか子、牧野 芳弘	第49回日本熱帯医学会大会	2008.10.25～26	国立国際医療センター
大分県内で分離された <i>Salmonella Braenderup</i> の疫学解析	若松 正人、緒方喜久代 成松 浩志、小河 正雄	第29回日本微生物学会学術総会	2008.11.12～13	広島国際会議場
市販流通食品における C-MRSA の浸淫状況	緒方喜久代、成松 浩志 若松 正人、小河 正雄 鈴木 巨弘	第29回日本微生物学会学術総会	2008.11.12～13	広島国際会議場
中津干潟における里海再生の取組み	宮崎 博文	第32回瀬戸内海水環境研究会発表会	2009.2.6	ホテル北野プラザ六甲荘
河川水中のダイオキシン類濃度について	上田精一郎	平成20年度環境衛生監視員等事例研究発表会	2009.1.29	大分文化会館
産業廃棄物処分場浸透水等の水質について	足立 和治	平成20年度環境衛生監視員等事例研究発表会	2009.1.29	大分文化会館
浴用水中のレジオネラ属菌の検出状況	緒方喜久代	平成20年度環境衛生監視員等事例研究発表会	2009.1.29	大分文化会館
腸管病原性大腸菌の局在性付着関連遺伝子 bfpA の多型と表現型解析	飯田真里子、鈴木理恵子 磯部 順子、勢戸 和子 河野喜美子、成松 浩志 伊藤健一郎、岡部 信彦 岡村 登	第83回日本感染症学会総会学術集会	2009.4.23～24	京王プラザホテル
EAggEC (aggR 陽性) 株の線毛遺伝子保有状況	伊藤健一郎、山崎 貢 成松 浩志、倉園 貴至 蛭田 徳昭、森屋 一雄 上野 伸広、野田 裕之	第83回日本感染症学会総会学術集会	2009.4.23～24	京王プラザホテル
大分県の新型インフルエンザ検査状況について	小河 正雄、加藤 聖紀 人見 徹、本田 顕子	大分県感染症研究会第45回例会	2009.8.27	大分東洋ホテル
一斉分析法を用いた加工食品中の残留農薬分析	武田 亮、安井 玉樹 曾根 聡子、森崎 澄江	第35回九州衛生環境技術協議会衛生化学分科会	2009.10.8～9	大分市コンパルホール
大分県の高濃度オキシダント発生日について	伊東 達也	第35回九州衛生環境技術協議会衛生化学分科会	2009.10.8～9	大分市コンパルホール
大分県内の硝酸性窒素高濃度地域における実態把握調査	村上 泰隆、中村 千晴	第35回九州衛生環境技術協議会衛生化学分科会	2009.10.8～9	大分市コンパルホール

表 題	発表者	発表学会名	会期	会場
保育園で発生した腸管出血性大腸菌 O121 による集団発生事例	緒方喜久代、若松 正人 成松 浩志	第 35 回九州衛生環境技術協議会衛生化学分科会	2009.10. 8 ~ 9	大分市コンパルホール
保育園で発生した腸管出血性大腸菌 O121 による集団発生事例	緒方喜久代、若松 正人 成松 浩志	第 13 回腸管出血性大腸菌感染症シンポジウム	2009.10.16 ~ 17	大阪府立大学りんくうキャンパス獣医学舎多目的ホール
Molecular epidemiology of Japanese encephalitis virus in Oita, Japan during 1980-2008	Wei-Feng Tang, Sachiko Nishimura, Masao Ogawa, Yuki Eshita, Hiroshi Ando and Yoshihiro Makino	第 50 回 日本熱帯医学会大会	2009.10.22 ~ 23	沖縄県宜野湾市 沖縄コンベンションセンター
迅速・簡便な検査によるレジオネラ対策に係る公衆浴場等の衛生管理手法に関する研究	緒方喜久代	平成 21 年度厚生労働省科学研究費補助金「レジオネラ対策に係る研究事業」第 2 回班会議	2010. 1.18	国立感染症研究所
AP-PCR 法とダイレクトシーケンス法を応用した RNA ウイルス同定法	長岡 健朗、加藤 聖紀 本田 顕子	平成 21 年度日本獣医師会学会年次大会・日本獣医公衆衛生学会	2010. 1.29	ワールドコンベンションセンターサミット (宮崎市)
大分県の光化学オキシダントの状況について	伊東 達也	平成 21 年度環境衛生監視員等事例研究発表会	2010. 2. 5	県庁別館 84 会議室
最近の化学担当の機器整備状況と検査検討事項について	安井 玉樹	平成 21 年度大分県食品衛生監視員・と畜検査員研修会	2010. 2.19	大分県庁舎正庁ホール
大分県の犬・猫におけるコリネバクテリウムウルセランスの保菌状況調査について	若松 正人、人見 徹 成松 浩志、緒方喜久代 小河 正雄	平成 21 年度大分県食品衛生監視員・と畜検査員研修会	2010. 2.19	大分県庁舎正庁ホール
浴槽水からのレジオネラの単離および定量化における免疫磁気分離法の評価	磯部 順子、中嶋 洋 渡辺 裕子、森本 洋 緒方喜久代、常 彬 前川 純子、渡邊 治雄 倉 文明	第 83 回日本細菌学会総会	2010. 3.27 ~ 29	パシフィコ横浜
duplex PCR を用いた赤痢菌と大腸菌の鑑別	磯部 順子、嶋 智子 木全 恵子、緒方喜久代 田口 真澄、松本 昌門 岩出 義人、綿引 正則	第 83 回日本細菌学会総会	2010. 3.27 ~ 29	パシフィコ横浜
日本における劇症型溶血性レンサ球菌感染症臨床分離株の emm 遺伝子と csrS/csrR 遺伝子の変異頻度	池辺 忠義、緒方喜久代 奥野 ルミ、嶋 智子 大屋日登美、渡邊 治雄	第 83 回日本細菌学会総会	2010. 3.27 ~ 29	パシフィコ横浜
劇症型溶レン菌感染症臨床分離株で高頻度でみられる負の転写制御因子の変異	池辺 忠義、阿戸 学 松村 隆之、長谷川秀樹 小黑 祐子、嶋 智子 奥野 ルミ、大屋日登美 勝川 千尋、富永 潔 緒方喜久代、佐多徹太郎 小林 和夫、大西 真 渡邊 治雄	第 19 回 Lancefield レンサ球菌研究会および第 42 回レンサ球菌感染症研究会合同学会	2010. 6.25 ~ 26	東京都
エンテロウイルス 71 型の検出状況について (2010)	加藤 聖紀、本田 顕子 人見 徹、小河 正雄	第 47 回大分感染症研究会例会	2010. 8.26	大分東洋ホテル
食品中の異物苦情事例について	安井 玉樹、森崎 澄江	第 36 回九州衛生環境技術協議会	2010.10.14 ~ 15	佐賀市 (グラウンデはがくれ)
「紫うどん?・細菌か?」 — <i>Janthinobacterium lividum</i> が原因と推定されたうどんの紫変色事例 —	成松 浩志、若松 正人 加藤 聖紀、緒方 喜久代 石田 英子	第 36 回九州衛生環境技術協議会	2010.10.14 ~ 15	佐賀市 (グラウンデはがくれ)
エンテロウイルス 71 型の検出状況について (2010)	加藤 聖紀、本田 顕子 人見 徹、小河 正雄	第 36 回九州衛生環境技術協議会	2010.10.14 ~ 15	佐賀市 (グラウンデはがくれ)
早朝における光化学オキシダントの高濃度事例について ~中国大陸からの移流の影響に関する検討~	中田 高史	平成 22 年度環境衛生監視員等事例研究発表会	2011. 2. 4	県庁新館 51 会議室

表 題	発表者	発表学会名	会期	会場
海水中における溶存態鉄の測定方法の開発について	松原 輝博	平成 22 年度環境衛生監視員等事例研究発表会	2011. 2. 4	県庁新館 51 会議室
化学物質による食中毒について	安井 玉樹	平成 22 年度大分県食品衛生監視員・と畜検査員研修会	2011. 2.16	大分県庁舎正庁ホール
食品中に含まれるアレルギー物質（特定原材料）の検査結果について	武田 亮、辛 花苗 本松 由美、安井 玉樹	平成 22 年度大分県公衆衛生学会	2011. 2.29	大分県医師会館
植物性自然毒による食中毒への危機管理対策	安井 玉樹	平成 22 年度大分県公衆衛生学会	2011. 2.29	大分県医師会館
水環境におけるレジオネラ属菌の生息状況	緒方 喜久代、若松 正人 成松 浩志	第 48 回大分感染症研究会例会	2011. 3.24	大分東洋ホテル
ストレス耐性との関連における腸炎ビブリオの分布状況の解析	長谷川朗生、工藤由起子 緒方喜久代、小西 良子 熊谷 一進	第 101 回日本食衛生学会学術講演会	2011. 5.16 ~ 17	東京都
2007 年から 2010 年に分離された <i>Streptococcus pyogenes</i> の薬剤耐性株検出状況について	奥野 ルミ、藤元 琢也 遠藤美代子、保科 清 小黑 祐子、嶋 智子 勝川 千尋、富永 潔 緒方喜久代、貞升 健志 甲斐 明美	第 43 回レンサ球菌感染症研究会	2011. 6.17 ~ 18	東京都
MOLECULAR EPIDEMIOLOGY OF GROUP A STREPTOCOCCUS ISOLATED FROM PATIENTS WITH SEVERE INVASIVE INFECTIONS IN JAPAN DURING 2004-2010	Tadayoshi Ikebe, Chihiro Katsukawa, Hitomi Ohya, Rieko Suzuki, Yuuko Oguro, Kiyoshi Tominaga, Tomoko Shima, Junko Isobe, Kikuyo Ogata, Rumi Okuno, Yumi Uchitani, Yuki Tada, Makoto Ohnishi, Haruo Watanabe	第 84 回日本細菌学会総会	2011. 9. 6 ~ 10	札幌市
DRUG RESISTANCE AND T SEROTYPES OF <i>Streptococcus pyogenes</i> ISOLATES FROM CLINICAL SPECIMENS OBTAINED IN JAPAN DURING 2007-2010	Rumi Okuno, Takuya Fujimoto, Miyoko Endoh, Kiyoshi Hoshina, Yuuko Oguro, Tomoko Sima, Tihiro Katsukawa, Kiyoshi Tominaga, Kikuyo Ogata, Kenji Sadamasu, Akemi Kai	第 84 回日本細菌学会総会	2011. 9. 6 ~ 10	札幌市
Characterization of <i>Kluyvera cryocrescens</i> strains harboring a novel variant of blaCTX-M gene isolated from retail poultry in AKITA, Japan.	J. Yatsuyanagi, S. Saito, Masanori Watahiki, Yutaka Shiraki, Masahiro Suzuki, Fubito Ishiguro, Nami Kanno, Katsuhiko Sunaoshi, Koichi Murakami, Kikuyo Ogata, and Yoshichika Arakawa	第 84 回日本細菌学会総会	2011. 9. 6 ~ 10	札幌市
Multilocus Line PCR: A novel epidemiological tool based on the polymorphism of functional gene units	○Masanori Watahiki, Jun Yatsuyanagi, Junko Isobe, Yutaka Shiraki, Masahiro Suzuki, Fubito Ishiguro, Nami Kanno, Atsuko Aoki, Katsuhiko Sunaoshi, Koichi Murakami, Kikuyo Ogata, Takeshi Kurata, and Yoshichika Arakawa	第 84 回日本細菌学会総会	2011. 9. 6 ~ 10	札幌市
The analytical study of the diverse strains of <i>Vibrio parahaemolyticus</i> by the tolerances to multiple stresses.	Akio Hasegawa, Yukiko Hara-Kudo, Kikuyo Ogata, Yoshiko Sugita-Konishi and Susumu Kumagai	第 84 回日本細菌学会総会	2011. 9. 6 ~ 10	札幌市
クドア検査法の開発	小河 正雄、若松 正人 人見 徹、緒方喜久代	第 49 回大分県感染症研究会例会	2011. 9. 1	大分東洋ホテル
台所用洗剤の食品混入時の対応について (LC/MS/MS による洗剤の鑑別方法の検討)	林 由美、安井 玉樹 森崎 澄江、岡本 盛義	第 37 回九州衛生環境技術協議会	2011.10. 6	熊本市国際交流会館
大分県の呼吸器感染症におけるウイルス検出状況	加藤 聖紀、本田 顕子 那須真美子、田中 幸代 小河 正雄	第 37 回九州衛生環境技術協議会	2011.10. 6	熊本市国際交流会館

表 題	発表者	発表学会名	会期	会場
事業場排水中の白濁物質の原因調査事例について	佐藤 洋子	第 37 回九州衛生環境技術協議会	2011.10. 6	熊本市国際交流会館
大分県における放射能調査	酒盛 早美	第 53 回環境放射能調査研究成果発表会	2011.12. 1	文部科学省講堂
大分県における環境中の放射能調査について	酒盛 早美	平成 23 年度環境衛生監視員等事例研究発表会	2012. 2. 1	大分県庁新館
大分県における福島第一原発事故の放射能影響について	酒盛 早美	第 57 回大分県公衆衛生学会	2012. 2.25	大分県医師会館
腸管侵入性大腸菌のゲノム解析	小椋 義俊、大岡 唯祐 磯部 順子、河野喜美子 勢戸 和子、 <u>緒方喜久代</u> 林 哲也	第 6 回日本ゲノム微生物学会年会	2012.3.10 ~ 12	東京都

*1 福岡市保健環境研究所

■職員録

生活環境部			
年 度	2003 (H15)	2004 (H16)	2005 (H17)
所 長	甲斐 崇 明	吉 武 史 朗	吉 武 史 朗
次 長	城 井 秀 郎	城 井 秀 郎	塩 川 也 寸 志
管理部	B 城 井 秀 郎 F 藤 井 直 行 F 芦 原 麻 由 美 兼 田 正 俊 高 木 道 代 高 野 正 彰 宗 像 政 次	B 城 井 秀 郎 F 藤 井 直 行 F 石 倉 恵 三 子 兼 田 正 俊 高 木 道 代 高 野 正 彰 宗 像 政 次	B 塩 川 也 寸 志 F 春 山 義 光 F 石 倉 恵 三 子 兼 田 正 俊 上 野 英 正 河 野 正 彰 宗 像 政 次
企画・特定化学物質部	B 吉 川 政 治 F 久 枝 和 生 F 二 村 哲 男 上 田 精 一 佐 藤 一 勲	B 佐々木 清 F 久 枝 和 生 F 二 村 哲 男 上 田 精 一 村 井 みゆき	B 佐々木 清 S 久 枝 和 生 二 村 哲 男 上 田 精 一 嶋 崎 みゆき
化学部	B 城 井 堅 治 S 三 妙 正 弘 立 花 敏 孝 代 二 宮 利 男 江 溝 腰 崎 澄 理 子 森 荒 金 真 理 子 曾 根 聡 子	B 山 下 秀 門 S 三 妙 正 治 立 花 敏 弘 博 野 尻 敏 利 男 江 溝 腰 崎 澄 理 子 森 荒 金 真 理 子 曾 根 聡 子	B 山 下 秀 門 S 三 妙 正 治 後 藤 成 敏 博 野 尻 敏 利 男 江 溝 腰 崎 澄 理 子 森 曾 根 聡 子
微生物部	B 内 山 静 夫 S 川 島 眞 也 吉 用 省 三 子 鷺 見 悦 正 雄 小 河 方 喜 久 代 緒 成 田 浩 潔 子	B 内 山 静 夫 S 川 島 眞 也 吉 用 省 三 子 鷺 見 悦 正 雄 長 谷 川 昭 生 緒 方 喜 久 代 田 代 潔 子	B 内 山 静 夫 S 川 島 眞 也 吉 用 省 三 子 鷺 見 悦 正 雄 長 谷 川 昭 生 田 代 潔 子
大気部	B 粟 津 記 久 夫 F 恵 良 雅 彰 藤 野 卓 見 香 蛸 灰 谷 佳 史	B 粟 津 記 久 夫 F 恵 良 雅 彰 蛸 灰 谷 喬 子 藤 原 信 佳 史	B 粟 津 記 久 夫 F 恵 良 雅 彰 蛸 灰 谷 喬 子 藤 原 信 佳 史
水質部	B 濱 内 正 博 S 藤 井 幹 久 F 飛 高 信 雄 宮 崎 博 文 宮 崎 博 文 牧 克 年 坂 田 隆 一	B 安 藤 誠 久 S 藤 井 幹 久 F 飛 高 信 雄 藤 野 卓 見 正 宮 崎 俊 隆 一 坂 田 隆 一 宇 都 宮 敏	B 安 藤 誠 久 F 飛 高 信 雄 藤 野 卓 見 隆 二 宮 俊 隆 一 坂 田 隆 一 宇 都 宮 敏
企画・特定化学物質部兼務主幹研究員	山下 剛*1 後藤 文治*2 小野 忠*3 室 雅道*4 猿渡 実*5		

*次長：山崎 敏昌 (8月まで) * 企画・特定化学物質部兼務主幹研究員制廃止

*田代 潔子 (9月採用)

註 (～2005) B：部長、S：専門研究員、F：副部長

*1：健康対策課、*2：産業科学技術センター、*3：農業技術センター、*4：林業試験場、*5 海洋水産研究センター

生活環境部			
年 度	2006 (H18)	2007 (H19)	
所 長	堤 平 治	梅 田 和 秀	
次 長	佐々木 清 勉	宮 園 正 敏	
企画・管理担当	高 橋 久 宮 司 春 山 義 光 二 村 哲 男 石 倉 恵 三 子 上 野 英 正 嶋 崎 みゆき 高 柳 義 美 宗 像 政 次	三 浦 始 男 二 村 哲 男 石 倉 恵 三 子 安 嶋 崎 基 治 高 嶋 崎 基 治 宗 像 義 美 次	
化学担当	SS 山 下 秀 門 S 三 妙 正 治 後 藤 成 敏 博 溝 腰 崎 澄 理 子 森 曾 根 聡 子	SS 山 下 秀 門 後 藤 成 敏 博 溝 腰 崎 澄 理 子 森 曾 根 聡 子	門 治 一 男 江 子 亮 一 男 江 子 亮 利 澄 根 田 亮
微生物担当	S 測 祐 一 S 川 島 眞 也 吉 用 省 三 子 鷺 見 悦 正 雄 小 河 方 喜 久 代 緒 長 岡 健 朗 長 谷 川 昭 生	S 測 祐 一 吉 用 省 三 子 小 河 方 喜 久 代 緒 長 岡 健 朗 若 松 正 人	一 三 雄 代 朗 志 人 正 喜 久 代 朗 志 人 方 岡 健 朗 志 人 松 正 人
大気・特定化学物質担当	SS 粟 津 記 久 夫 Ss 蛸 灰 谷 喬 子 恵 良 雅 彰 藤 野 卓 見 香 上 田 浩 潔 子 伊 東 原 輝 博	SS 粟 津 記 久 夫 藤 野 卓 見 香 上 田 浩 潔 子 伊 東 原 輝 博	記 久 夫 見 精 一 郎 紀 博 卓 見 香 野 真 輝 田 東 野 原 輝 原 輝 博
水質担当	S 宮 崎 博 文 飛 高 信 雄 二 宮 俊 隆 一 足 立 和 重 晴 牧 金 並 田 千	S 宮 崎 博 文 飛 高 信 雄 足 立 和 重 晴 牧 金 並 田 千	文 雄 治 年 重 晴 信 和 重 晴 牧 金 並 田 千

註 (2006～) SS：参事兼専門研究員、S：専門研究員、Ss：参事兼主幹研究員

年度	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)
所長 次長	野田修一郎 安東秀夫	渡邊克廣 小椋原富喜男 田俊英	潤藤祐一 俊野利昭 小野利文	奥幸一郎 諭磨秀一	井上昭二 江藤英二 朝野哲彦 久東基治 野立政次	山村壽史 加藤博美
企画・管理担当	三浦始 小野文生 安東基治 嶋崎ゆき 高宗義政	幸三浦則 安東基治 足立ゆき 嶋崎みゆき 小嶋総一郎 高柳義美	幸岡本則 安東基治 足立淳子 小野瀬佳代 高柳義美	朝久野哲彦 安東基治 足立政次	朝久野哲彦 安東基治 宗像政次	藤澤惠子 岩男亜紀 安東基治 安宗政
化学担当	SS 山後秀門 下藤成利一 腰崎澄江 森曾根玉樹 安井	小野文生 森武安幸 野田井玉花 澄江樹苗	森崎澄江 武安本幸 田井松花 玉樹苗	岡本盛義 長谷川昭生 武田由花 林幸橋口祥	長谷川昭生 近藤由美子 林橋口祥	長谷川昭生 衛藤由尚 林橋高宮 橋高二
微生物担当	小緒河正雄 長方喜久代 成岡健朗 若松浩志 加藤正人 本藤聖紀 田藤聖紀 田藤聖紀	S 小緒河正雄 成方喜久代 若松浩志 加藤正人 本藤聖紀 田藤聖紀 田藤聖紀	S 小緒河正雄 成方喜久代 若松浩志 加藤正人 本藤聖紀 田藤聖紀 田藤聖紀	S 小緒河正雄 成方喜久代 加藤藤聖紀 本藤聖紀 田藤聖紀 田藤聖紀	S 小緒河正雄 成方喜久代 加藤藤聖紀 本藤聖紀 田藤聖紀 田藤聖紀	S 小緒河正雄 成方喜久代 加藤藤聖紀 本藤聖紀 田藤聖紀 田藤聖紀
大気・特定化学 物質担当	二村哲男 上田精一郎 中田高史 伊東達也 長野真輝 松原輝博	二村哲男 上田精一郎 中田高史 伊東達也 長野真輝 松原輝博	上田精一郎 中野高史 嶋野真由 小酒盛由加里	上田精一郎 中野高史 小酒盛由加里	鈴木木龍一 長野真大 安東本英 岡酒盛早 伊賀上	S 入江久生 長野真大 安東本英 岡酒盛早 伊賀上
水質担当	S 宮崎博文 足立克和 牧立並田 松金武田 松千	S 宮崎博文 牧立並田 松金武田 松千	S 宮崎博文 鈴木原千 松村上藤	S 入江久生 鈴木原千 松村上藤	S 入江久生 鈴木原千 松村上藤	伊東達也 山中伊首 藤千豊 藤弘

伊藤豊信
(10月採用)

二宮健
(5月採用)

大分県衛生環境研究センター年報

第40号 記念特集号

平成25年11月25日発行

編集・発行者 大分県衛生環境研究センター

〒870-1117 大分市高江西2丁目8番

TEL (097)554-8980

FAX (097)554-8987

印刷所 小野高速印刷株式会社

〒870-0913 大分市松原町2丁目1-6

TEL 097-558-3444

FAX 097-552-2301
